

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2026/2/25 放課後等デイサービス 事業所名: ジャンプジャンプ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 体制 整備	① 子どもの活動スペースが十分に確保されているか	71.4%	28.6%	0.0%	子どもの活動内容に応じて、机や備品の配置を見直し、動きやすい空間づくりを心がけています。 また、運動量の多い活動と静かな活動の時間を分けることで、限られたスペースでも安全に過ごせるよう工夫しています。	活動内容に応じた空間づくりは行っていますが、利用児の人数や特性によっては十分なスペースが確保しきれない場合があります。 今後は、活動人数の調整やグループ分けを行うなど、より安全で無理のない活動環境を整えていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③ バリアフリー化の配慮が適切か	28.6%	42.9%	28.6%	完全なバリアフリー化はできていませんが、段差付近での見守りや介助、危険箇所への注意喚起などの工夫を行っています。 利用児の状況に応じて活動場所や移動方法を調整し、安全に過ごせるよう配慮しています。	建物構造上の課題を踏まえ、完全なバリアフリー化は困難であるものの、段差や通路等における安全配慮を徹底し、職員による介助体制の維持・強化を改善目標とします。
業務 改善	④ 業務改善を進める為PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか [計画→実施→評価→改善→プラン]	71.4%	28.6%	0.0%	業務改善にあたっては、職員会議等を通じて目標設定を行い、日々の支援実践を振り返りながら評価・改善につなげています。 振り返り際には、職種や経験年数に関わらず意見を出し合えるよう配慮し、職員一人ひとりがPDCAサイクルに参画できる体制づくりを行っています。	職員の参画によるPDCAサイクルの運用は行っていますが、改善内容の定着や評価方法についてはさらなる工夫が必要と考えています。 今後は、目標設定・評価・改善の流れをより明確にし、業務改善の効果を確認しながら継続的な見直しを行っていきます。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑥ 自己評価表の結果を、事業所の会報などに公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57.1%	28.6%	14.3%	コンサルタントによる事業所の評価や業務改善などアドバイスをいただいています。	外部からの助言を日々の業務に十分に反映しきれていない場面もあるため、助言内容を職員間で共有し、実際の支援や運営に落とし込む体制を整えることで、継続的な業務改善につなげていきます。
	⑧ 職員の資質向上のために研修の機会を確保しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、サービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	85.7%	14.3%	0.0%	定期的に標準化されたアセスメントツールを用いて、子どもの適応行動の変化や成長を客観的に把握しています。	ツールの評価が形式的になりやすく、支援内容との連動が不十分な場合があるため、評価結果を支援計画に的確に反映し、実際の支援場面で活かせるよう職員間での共有と振り返りの機会を定期的に設けていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	71.4%	28.6%	0.0%	毎月ジャンプジャンプ緑ヶ岡と合同で運動療育チームの会議を行っています。	合同会議での意見交換は活発に行われていますが、職員全体への共有や理解に差が出る場合があります。 今後は、会議内容を分かりやすく整理し、全職員が共通認識を持って活動に取り組めるよう、情報共有の方法を工夫していきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑬ 平日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	85.7%	14.3%	0.0%		
	⑭ 状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせてサービス計画を作成しているか	85.7%	14.3%	0.0%		
	⑮ 支援前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日の支援内容や役割分担について確認しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑯ 支援後に職員間で必ず打ち合わせをし、その日の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
⑰ 日々の支援に対して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%			

	⑱	定期的にモニタリングを行いサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	85.7%	14.3%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議に、子どもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉑	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	85.7%	14.3%	0.0%		
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	28.6%	57.1%	14.3%		対象児童なし
	㉓	利用していた園や児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	57.1%	28.6%	14.3%	以前通っていた園や児童発達支援事業所と、必要に応じて保護者の同意を得た上で情報共有を行い、児童の特性や支援の流れを把握しながらスムーズな支援につなげています。	情報共有の頻度や内容にばらつきがあるため、今後は移行時や支援計画の見直し時に意識的に連携を図り、支援の継続性と一貫性を高めていきます。
	㉔	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供しているか	57.1%	42.9%	0.0%	障害福祉サービス事業所等への移行に際しては、保護者の同意を前提に、支援内容、支援上の留意点等について書面を中心に情報提供を行っています。関係機関と連携し、円滑な支援移行が行えるよう配慮しています。	障害福祉サービス事業所等への移行時における情報提供について、内容や方法にばらつきが生じないように、提供する情報の整理と様式の統一を進めていきます。あわせて、保護者や関係機関との連携をより密にし、円滑で切れ目のない支援につなげるよう改善を図ります。
	㉕	支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	57.1%	28.6%	14.3%	各職員が定期的に外部研修に参加し、支援に関する知識や技術の向上に努めています。最近では研修の機会も増えており、他の支援機関からの助言や情報を業務に活かせるよう取り組んでいます。	外部研修で得た知識や学びが個人の中で留まってしまうことがあり、現場全体への共有が不十分な場面も見られます。今後は職員間での情報共有の機会を設け、学んだ内容をチーム全体の実践につなげられるよう工夫していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0.0%	42.9%	57.1%	現時点では放課後児童クラブや児童館との直接的な交流は行っていないが、障害の有無に関わらず子ども同士が自然に関われる機会の重要性を認識しており、今後の検討課題としています。	今後は地域資源とのつながりを深めながら、放課後の時間帯における他児との交流機会の可能性を探り、無理のない形で交流の場を設けていけるよう調整を図っていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	28.6%	57.1%	14.3%	管理者が地域自立支援協議会の教育・療育部会に部会員として参画し、地域の支援体制や課題について協議に参加しています。そこで得られた知見を事業所内で共有し、支援の質向上につなげています。	協議会での協議内容について、事業所内への情報共有が十分に浸透していない点を課題としています。今後は、共有方法の見直しを行い、支援や運営に反映できるよう具体的な情報提供を行っていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	42.9%	57.1%	0.0%	ペアレントトレーニングのような体系的な支援は実施していないが、保護者からの相談には随時対応し、子育てや関わり方について個別に助言を行っています。	職員が保護者支援に関する知識やスキルを身につけながら、相談対応の質を高め、子育てに寄り添った支援体制の強化を図っていきます。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉛	子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	57.1%	42.9%	0.0%	子育てに関する悩みや相談については、日常の送迎時や面談等の機会を通じて随時受け付けています。相談内容に応じて、職員間で情報を共有し、必要な助言や支援を行うとともに、関係機関との連携も図っています。	子育て相談への対応について、記録・振り返りの仕組みを見直し、支援内容の継続性と質の向上を図っていきます。あわせて、関係機関との連携体制を整理し、必要な支援につなげられるよう改善を進めます。
	㉜	保護者会等を開催する等、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	0.0%	100.0%	保護者会実施の予定はございません。	
	㉝	苦情について、体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか	85.7%	14.3%	0.0%		
	㉞	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等情報を発信しているか	71.4%	28.6%	0.0%	紙での会報発行は極力行っていないが、ペーパーレスの方針に基づき、お知らせはLINEで、行事予定や出欠管理等は専用アプリを通じて保護者に随時発信しています。	配信方法が複数に分かれているため、情報が届いていないと感じられることもあります。今後は伝達手段を明確にし、必要な情報が確実に伝わるよう整理・案内の工夫を進めていきます。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%		

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	③⑦	地域に開かれた事業運営を図っているか	42.9%	42.9%	14.3%	現時点では地域住民を招いた行事等は実施していないが、地域とのつながりを意識し、情報共有は行っています。	今後は地域のイベントや活動に積極的に参加し、地域との関係づくりを進めながら、事業所としても地域に開かれた運営を目指していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時・防犯・感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	71.4%	28.6%	0.0%		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、サービス計画に記載しているか	100.0%	33.3%	0.0%		
	④⑫	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がなされているか	42.9%	57.1%	0.0%	医師の指示書が提出されている場合はその内容に基づき対応を徹底しています。指示書がない場合でも、保護者からの聞き取りをもとに慎重に確認を行い、誤食防止のために職員間で情報を共有しています。	指示書の提出について保護者への丁寧な説明を行い、確実な対応につなげるとともに、日々の支援の中でも再確認を徹底し、アレルギー対応の安全性を高めていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%		

○『はい』が70%を下回る項目について回答しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です